

令和5年度 職員アンケートの結果について

1 回答した職員について

- ・横浜氷取沢高等学校の教職員、26名。

2 質問内容について

グローバル教育に関するアンケート12問を令和6年3月に実施した。質問内容については次の通りである。

なお、質問内容については、令和4年度に実施したものと、ほぼ同様のものとした。

(1) 次にあげる教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。

- ・英語の学校設定科目「コミュニケーションスキルズ」の設置と少人数教育
- ・校内英語スピーチ・プレゼンテーションコンテスト
- ・韓国、オーストラリア、ニュージーランドとの姉妹校等交流
- ・グローバル講演会（日揮グローバルの社員による講演会）
- ・英検の1次試験会場、GTECの受検
- ・予備校の協力によるネイティブ講師による英検2次対策会

(2) 「グローバル教育研究推進校」の取組の1つとして、グローバル人材の育成に向け、全教科共通のテーマ、「他者の考えを知ることで、自分の考えを広げる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。

※なお、このテーマは、県教育委員会の「グローバル人材に求められる力」の記載、及び「生徒による授業評価」の問2、問5に関連付けて設定したもの。

(3) 今後の「グローバル教育研究推進校」の取組として、取り上げてみたい教育活動を答える。【任意回答】

(4) 本校では電子黒板を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。「電子黒板を活用した授業」とは、電子黒板が設置されている教室において1回の授業で板書や口頭説明もあわせて活用した授業を表す。

(5) 電子黒板を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」が増えることが期待されている。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。

(6) 電子黒板を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待されている。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。

(7) 本校ではタブレット端末を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。「タブレット端末を活用した授業」とは、1回の授業において板書、電子黒板、口頭説明もあわせて活用した授業を表す。

(8) ロイロノートを導入して4年目になる。授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。

(9) ロイロノートを活用した項目を次の中から回答する。【複数回答可】

- ・生徒への資料・動画等の配信
- ・生徒からの回答の提出
- ・生徒からの課題の提出
- ・生徒の回答の共有
- ・プレゼンテーション
- ・シンキングツール
- ・カメラ・録音機能の活用
- ・自由記述

(10) タブレット端末を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」の時間が増えることが期待される。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。

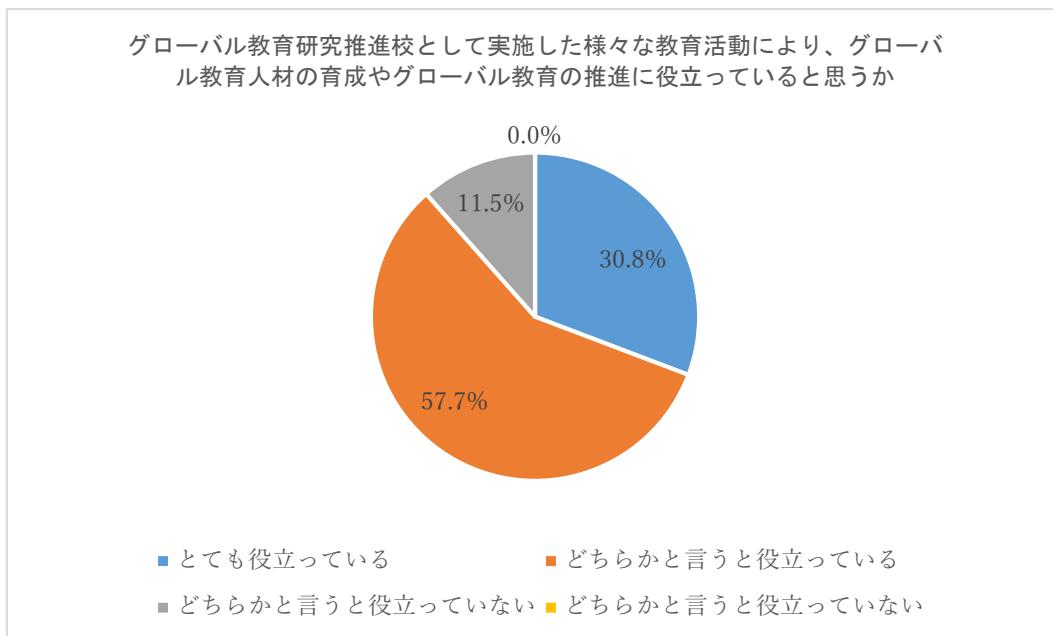
(11) タブレット端末を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待される。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。

(12) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業が、生徒の学力育成に対して、どのような影響があると思うか。【任意回答】

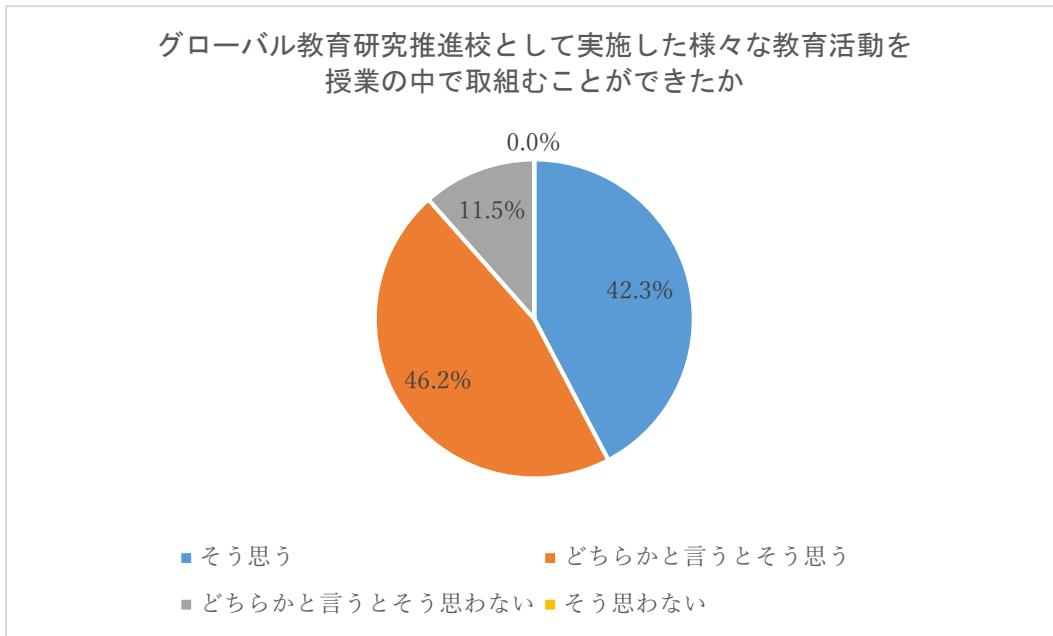
(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGs に関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。

3 回答結果について

(1) 「グローバル教育研究推進校」として実施した様々な教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。



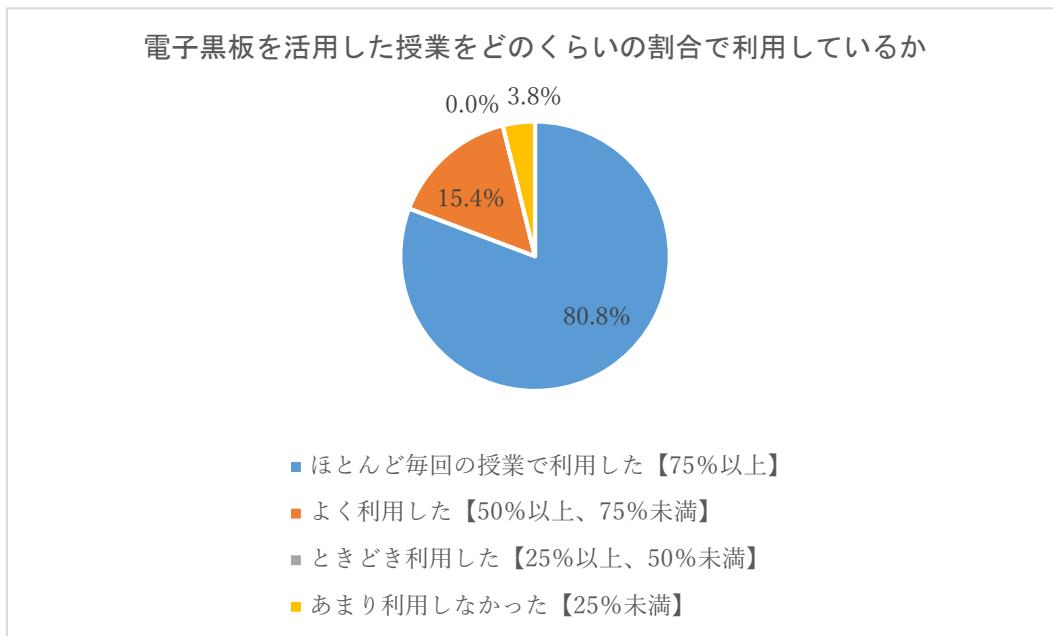
(2) 「グローバル教育研究推進校」の取組の1つとして、グローバル人材の育成に向け、全教科共通のテーマ、「他者のやりとりを通じて、多様な考え方を理解し、新たな考えを発信できる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。



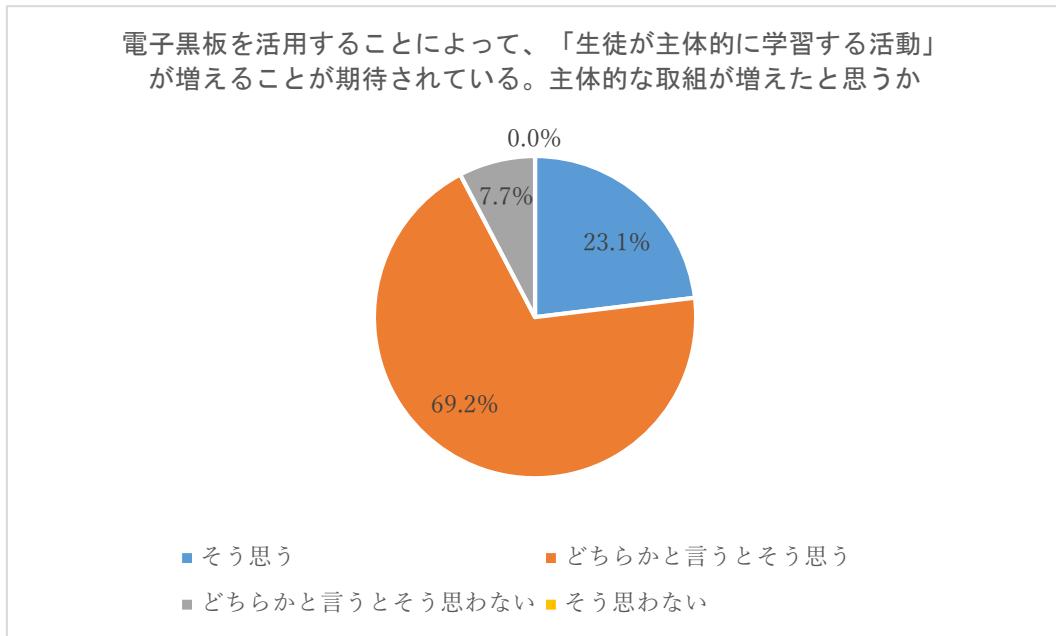
(3) 今後の「グローバル教育研究推進校」の取組として、取り上げてみたい教育活動について回答する。任意の回答であったが3件の回答があった。

- ・海外研修旅行
- ・電子会議でいくつかの海外の学校と繋ぎながらの、意見交換会。例えば、食文化・放課後の過ごし方、流行の服装など身近なテーマに絞って行う。
- ・留学生（短期・長期）の受入れ。

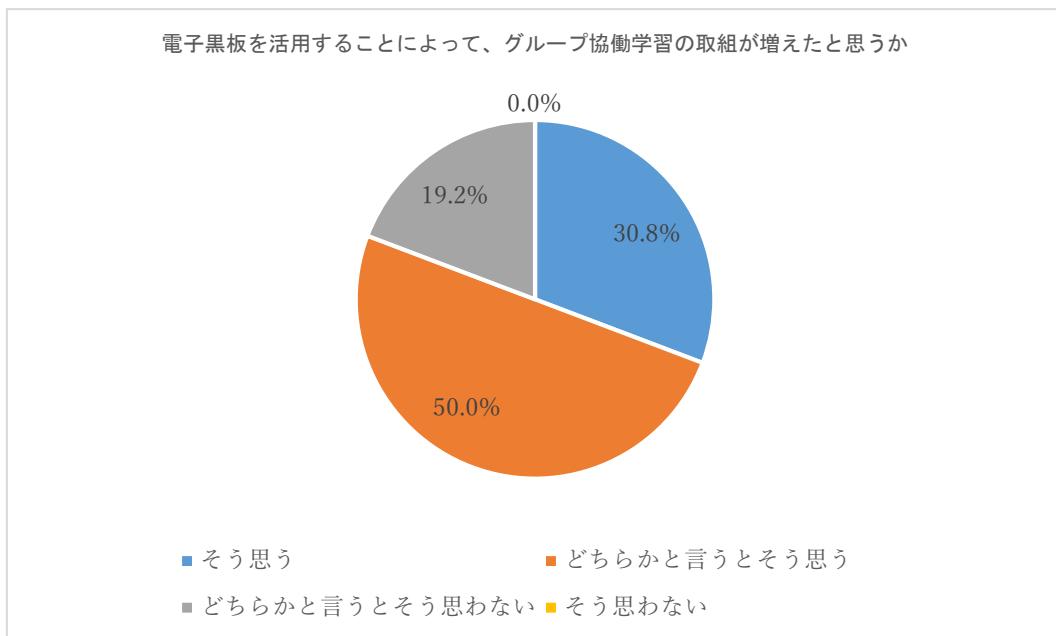
(4) 本校では電子黒板を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。



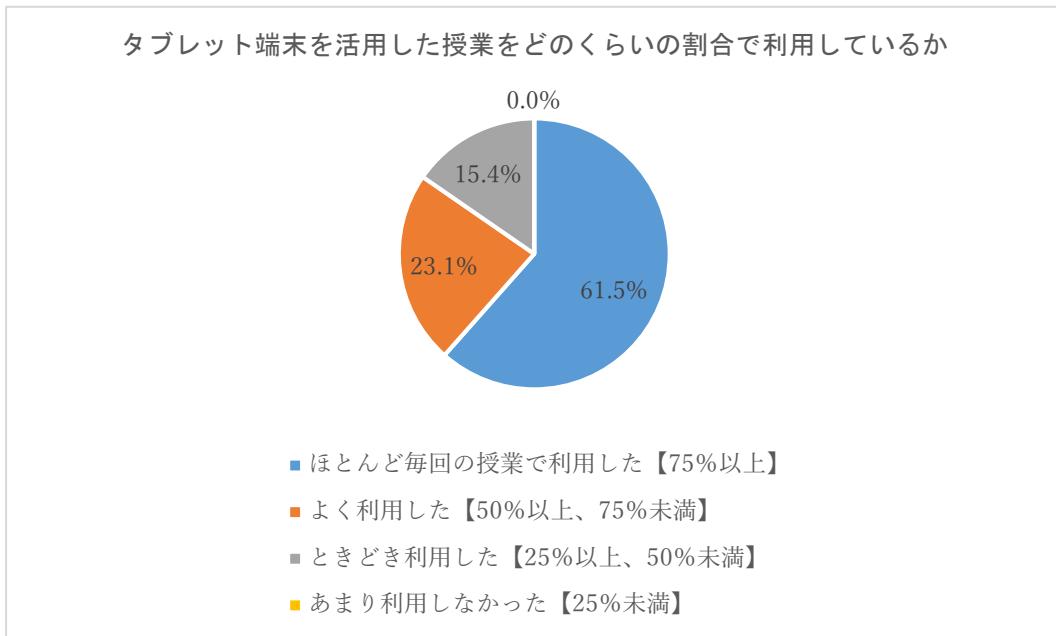
(5) 電子黒板を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」が増えることが期待されている。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。



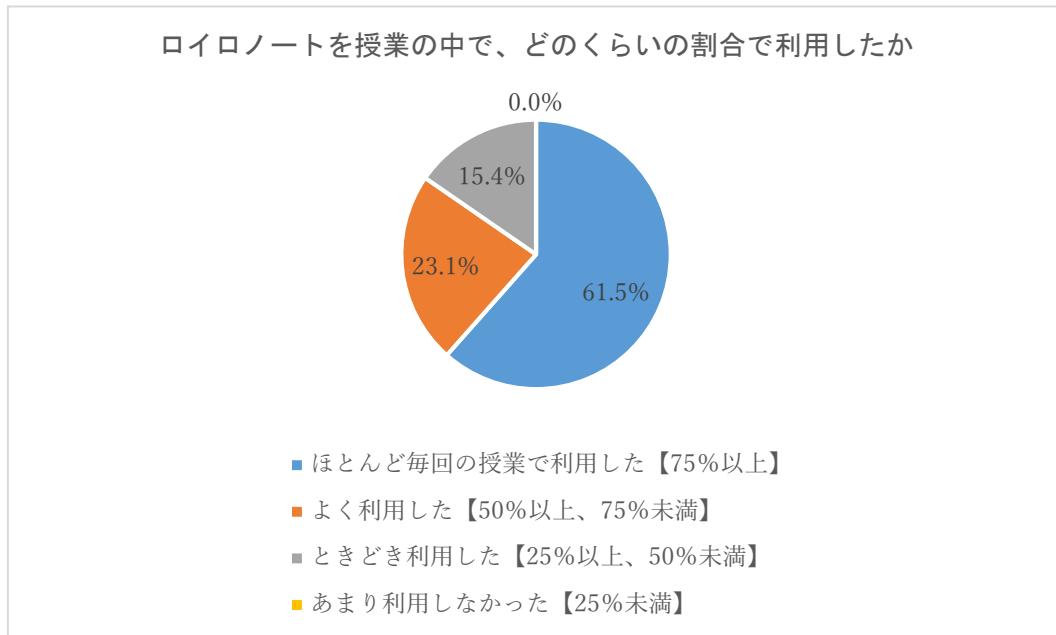
(6) 電子黒板を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待されている。生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。



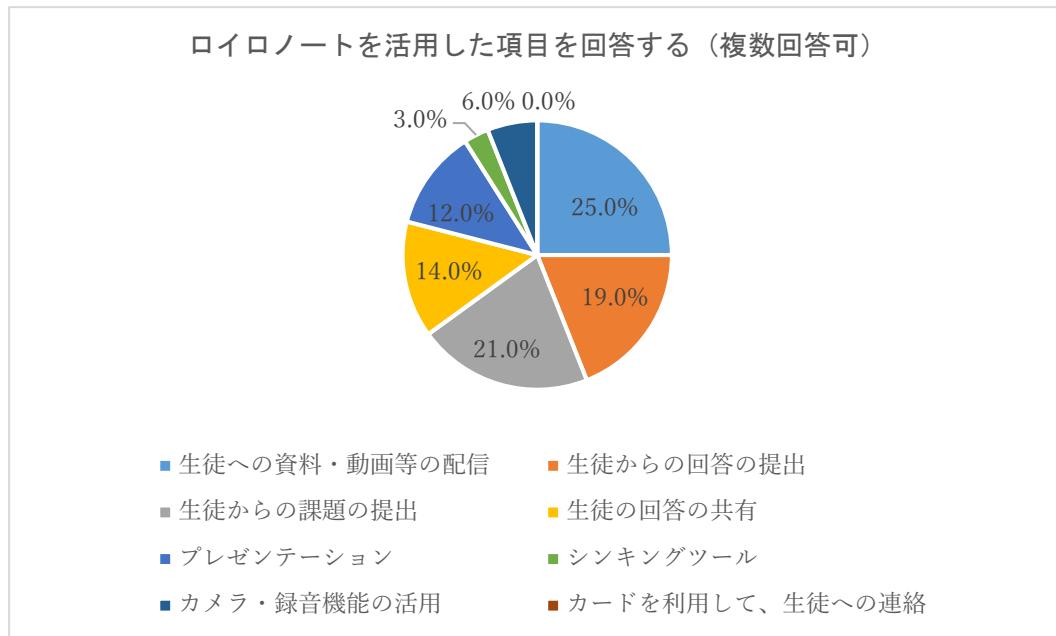
(7) 本校ではタブレット端末を活用した授業を推進している。どのくらいの割合で利用しているか。



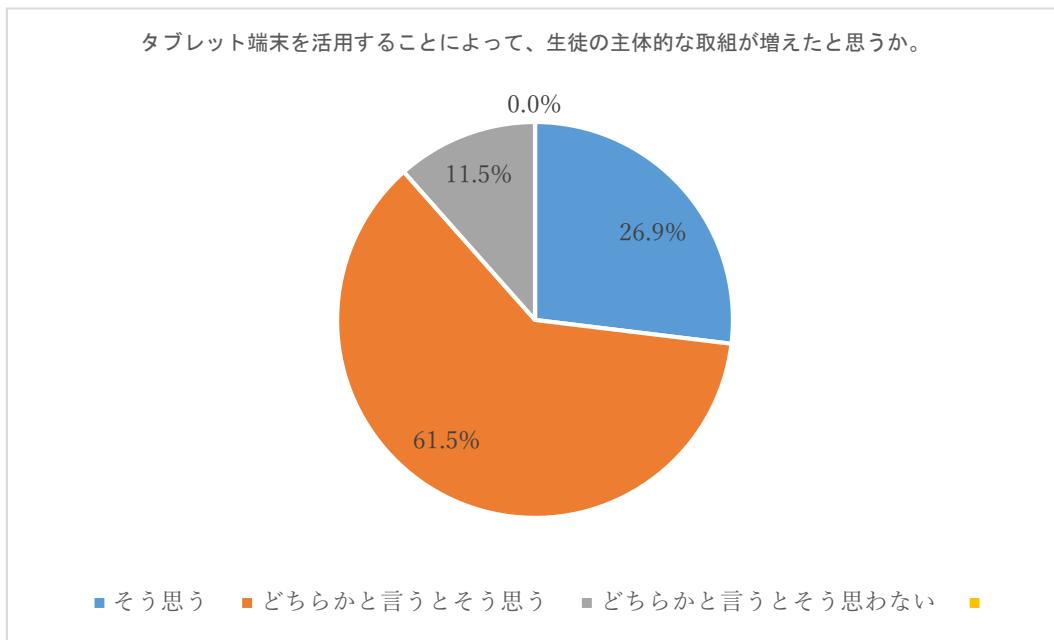
(8) ロイロノートを導入して3年目になる。授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。



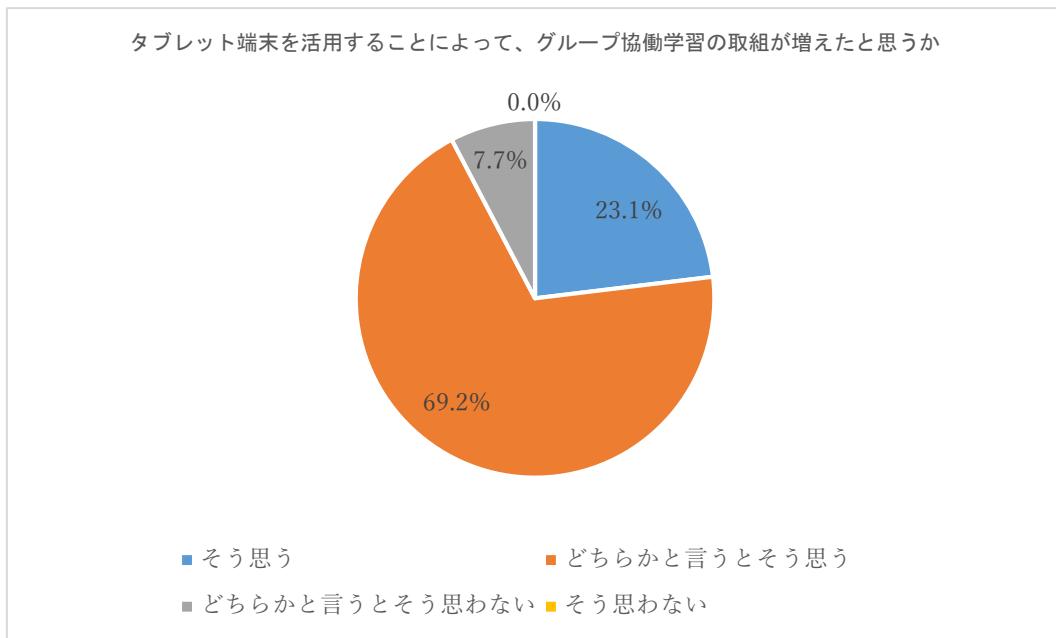
(9) ロイロノートを活用した項目は何か。【複数回答可】



(10) タブレット端末を活用することによって、「生徒が主体的に学習する活動」の時間が増えることが期待される。生徒の主体的な取組が増えたと思うか。



(11) タブレット端末を活用することによって、「生徒のグループ協働学習の活動」が増えることが期待される。グループ協働学習の取組が増えたと思うか。

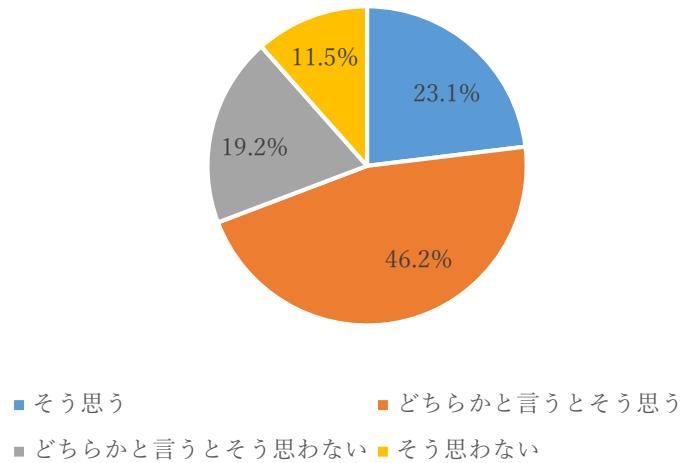


(12) 電子黒板やタブレット端末を活用した授業が、生徒の学力育成に対して、どのような影響があると思うか。任意の回答であったが3件の回答があった。

- ・授業中に集中力を欠いた言動をする生徒が増えた。
- ・主体的に取り組むまでの知恵が、生徒個々に備わっていないといけない科目では、端末利用だけで良い成果が上がるかといえば、なかなかそうではないと思う。
- ・来る時代のニーズに応える適応力の育成、疑問を放置しない姿勢の涵養が必要。

(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGs に関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。

「総合的な探究の時間」ではSDGs に関わる学習も取り入れている
る。自身の教科指導の中で関連した授業展開ができたか



4 結果の分析について

肯定的な意見と否定的な意見の回答割合を比較してみると、次の通りになる。

項目	年度	肯定的 (%)	否定的 (%)
(1) 「グローバル教育研究推進校」として実施した様々な教育活動は、グローバル教育人材の育成やグローバル教育の推進に役立っていると思うか。	令和4年度	92. 7%	7. 3%
	令和5年度	88. 5%	11. 5%
(2) 全教科共通のテーマ、「他者のやりとりを通じて、多様な考え方を理解し、新たな考えを発信できる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか。	令和4年度	90. 2%	9. 8%
	令和5年度	88. 5%	11. 5%
(4) 電子黒板を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか。	令和4年度	95. 2%	4. 8%
	令和5年度	96. 2%	3. 8%
(5) 電子黒板を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか。	令和4年度	83. 0%	17. 0%
	令和5年度	92. 3%	7. 7%
(6) 電子黒板を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。	令和4年度	75. 6%	24. 4%
	令和5年度	80. 8%	19. 2%
(7) タブレット端末を活用した授業をどのくらいの割合で利用しているか。	令和4年度	82. 9%	17. 1%
	令和5年度	84. 6%	15. 4%
(8) ロイロノートを授業の中で、どのくらいの割合で利用したか。	令和4年度	73. 2%	26. 8%
	令和5年度	84. 6%	15. 4%
(10) タブレット端末を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか。	令和4年度	82. 9%	17. 1%
	令和5年度	88. 5%	11. 5%
(11) タブレット端末を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか。	令和4年度	80. 5%	19. 5%
	令和5年度	92. 3%	7. 7%
(13) 本校の「総合的な探究の時間」では、SDGs に関わる学習も取り入れている。自分の教科指導の中で、関連した授業展開ができたか。	令和4年度	68. 3%	31. 7%
	令和5年度	69. 2%	30. 8%

(9) ロイロノートを活用した項目を次の中から回答する。【複数回答可】

※回答総数は100

	割合 (%)	
	令和4年度	令和5年度
生徒への資料・動画等の配信	22.7%	25.0%
生徒からの回答の提出	22.1%	19.0%
生徒からの課題の提出	22.7%	21.0%
生徒の回答の共有	14.9%	14.0%
プレゼンテーション	9.1%	12.0%
シンキングツール	3.9%	3.0%
カメラ・録音機能の活用	3.9%	6.0%
カードを利用して、生徒への連絡	0.4%	0.0%

令和4年度と比較して変化の多い項目について見ると、「(2) 全教科共通のテーマ、「他者のやりとりを通じて、多様な考え方を理解し、新たな考えを発信できる指導と評価の研究」を設定したが、授業の中で取組むことができたか」について、肯定的な回答が1.7ポイント減少したが、積極的な肯定的な回答である「そう思う」の割合が22.8ポイント増加しており、教職員の間で、指定校であることの意識が浸透し、日々の教育活動に反映できたことと考える。

「(5) 電子黒板を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか」、「(6) 電子黒板を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか」、「(8) ロイロノートを授業の中で、どのくらいの割合で利用しているか」、「(10) タブレット端末を活用することによって、生徒の主体的な取組が増えたと思うか」、「(11) タブレット端末を活用することによって、生徒のグループ協働学習の取組が増えたと思うか」で、肯定的な回答がそれぞれ、9.3ポイント、11.4ポイント、5.2ポイント、5.6ポイント、11.8%ポイント増加した。

これは電子黒板とタブレット端末を意識的に使用する機会が増えたこと、新型コロナウイルスが概ね収束に向かったことにより、グループ協働学習の取組が増え、この結果肯定的な回答が増えたと考えらえる。

このことは、「(9) ロイロノートを活用した項目」でも、「プレゼンテーション」の回答割合が増えたことからも推定することができる。

このような結果から、電子黒板とタブレット端末の活用は引き続きしていくことは勿論のこと、生徒の主体的な取組とグループ協働学習の取組を積極的に進めていく必要がある。また、教科の学習内容とSDGsとの関連が進んでいない面があるので、今後は、これにも力を入れていく必要があると考える。